

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

【国語科】

1. 調査結果

- 漢字を文の中で正しく使うことができている児童が多いです。
- 自分が聞こうとする内容を意図に応じて、話の中心を捉えることができる児童が多いです。
- 情報と情報を関係づけたり、図などによって語句同士の関係を理解したりすることができる児童が多いです。
- △話し手や書き手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることを苦手としている児童が多いです。

2. 結果を踏まえた授業改善

- ・文章に対する自分の考えを書いたり、要旨をまとめたりする時間を確保し、思考力・表現力を高めます。
- ・授業の中で意見交換をする時間を確保し、自分と友達との考え方を比較することで、互いの考え方の相違点を捉えられるようにします。

【算数科】

1. 調査結果

- グラフなどの資料から、正しく数値を読み取ることができる児童が多いです。
- 角の大きさや、図形の性質を正しく理解している児童が多いです。
- 小数・分数の加法・減法など、四則計算を正しく行うことができる児童が多いです。
- △図形の面積の求め方などについて、式や言葉を用いて記述することが苦手な児童が多いです。
- △伴って変わる二つの量の関係や、数量の大きさについて式や言葉を用いて記述することが苦手な児童が多いです。

2. 結果を踏まえた授業改善

- ・変化する2つの数量について表を用いて考えたり、式に表したりする活動について時間を設け、知識の定着を図るとともに、思考の過程を言語化する力を育てます。
- ・どのようにして答えを求めたのかを式や言葉を用いて説明したり、友達が考えた式について説明したりする活動を行い、筋道を立てて考える力を伸ばします。

【理科】

1. 調査結果

- 調べたいことに対して、正しく実験方法を設定したり、わかっていることをもとにして予想を立てたりすることができる児童が多いです。
- 植物の育ち方や、電磁石の強さの変化、水の状態変化など基礎的な知識が身についている児童が多いです。
- △実験から、新たな問題を見出し表現することを苦手としている児童が多いです。
- △理科の学習を通して身に付けた知識を、概念的に理解し、生活の中で生かすことを苦手としている児童が多いです。

2. 結果を踏まえた授業改善

- ・実験からわかったことや考えたこと、疑問に思ったことを振り返る場面を設定し、新たな問題を考える力を身に付けます。
- ・学習で学んだことを日常の具体例に落とし込み、演繹的に考える場面を設けることで、生活の中に学習内容を生かせるようにします。

【質問紙】

- いじめはどんなことがあっても許されないという考え方をもっている児童が多いです。
- 人の役に立つ人間になりたいと考えている児童が多いです。
- 学習したことは、将来役に立つと考えて学習に取り組んでいる児童が多いです。
- △自分には「よいところがある」と自信をもっている児童が少ないです。
- △読書が好きだと考えている児童が少ないです。